

市報

やまぐち

2005 7/1 NO.1391

JULY

Communication Paper Yamaguchi

CONTENTS 主な内容

2P 県央部1市4町共同企画
みんなで描こう！
新「山口市」の未来予想図

8P 平成16年度
第四次山口市行政改革の実施状況



同角度からみた現在の風景

懐かしの風景 7

「空から見た南部地区

(嘉川方面から二島方面を望む)

幸崎干拓地（昭和44年造成完了）が、まだ姿を現していないころの写真です。この辺りは海の幸に恵まれ、気候も温暖。カブトガなども生息する、西瀬戸内地域有数の広大な干潟が広がっており、日本の重要湿地500にも選ばれています。「白鷺」をかたどった美しい周防大橋の開通（平成4年）により、交通の利便性も良くなりました。まちの魅力ある風景の一つとして、大切にしていきたいですね。

●発行／山口市 〒753-8650山口市亀山町2-1

●ホームページ／<http://www.city.yamaguchi.yamaguchi.jp/>

●ホームページ（携帯電話用）／<http://www.city.yamaguchi.yamaguchi.jp/keitai/index.html>

※山口市役所のメールアドレスが7月19日から変わります。詳しくは7月15日号をご覧ください。

●編集／総合政策部広報広聴課 ☎934-2753

●Eメール／koho@city.yamaguchi.yamaguchi.jp

●印刷／株式会社 マルニ
古紙配合率100%再生紙使用

4町共同企画

描こう！ の未来予想図

町（山口市・小郡町・秋穂町・阿知須町・徳地町）
た住民のみなさんに、今まで取り組んできたこと
においてどう生かせるか、また、新市の未来へどの
いただきました。この座談会の模様は、山口ケー
降放送します（詳しくは14ページをご覧ください）。



さわだまこと
澤田誠さん（阿知須町）
阿知須町商工会青年部元部長（現 監事）
阿知須小学校PTA会長



うちだなおみ
内田直美さん（秋穂町）
秋穂図書ボランティアグループ代表



いまずみじゅんこ
今澄準子さん（徳地町）
「重源の郷」で来館者への紙すき指導を
担当



こやなぎたくや
小柳拓也さん（山口市）
県立大学社会福祉学部2年生 マジックサ
ークル「ミステリーサークル」主宰

さまざまな形で
まちづくりに携わってきたみなさん

沖永 みなさんこんにちは。本座
談会の進行役、沖永優子です。今
日は山口市、小郡町、秋穂町、阿
知須町、徳地町でさまざまな形で
まちづくりに携わってこられたみ
なさんにお集まりいただしていま
す。みなさんのこれまでの活動を
通じてのふるさとへの思い、そし
てみなさんが思い描く未来予想図
などを語っていただきます。コメ
ンテーターを務めていただくセニ
ョール小林さんです。

小林 こんにちは。10月に新市が
スタートしますが、1市4町の住
民の方が一堂に会する機会は、な
かなかないと思います。私も山口

市の住民の一人として、みなさん
のお話をいろいろとお聞きたい
と思います。

沖永 それでは、みなさんに自己
紹介をお願いします。

松本 小郡町の松本です。吉南青
年会議所の理事長として、会議所
を通じたまちづくりを考えていま
す。現在、会議所と地域の団体が
協力し、小郡町として最後の「ふ
しの夏まつり」（7月23日（土））
の準備を進めています。また、9
月18日（日）に「きららドーム」
で、プロ野球の名球会の方をお招
きし、野球教室を行います。

澤田 阿知須町の澤田です。わが

みんなで 新「山口市」

いよいよ10月1日に迫ってきた県央部1市4の合併。それぞれのまちから参加いただいや培ってきた経験などが、合併後の新市のような期待を持つかなどを熱く語り合っブルテレビ（12チャンネル）で、7月1日以



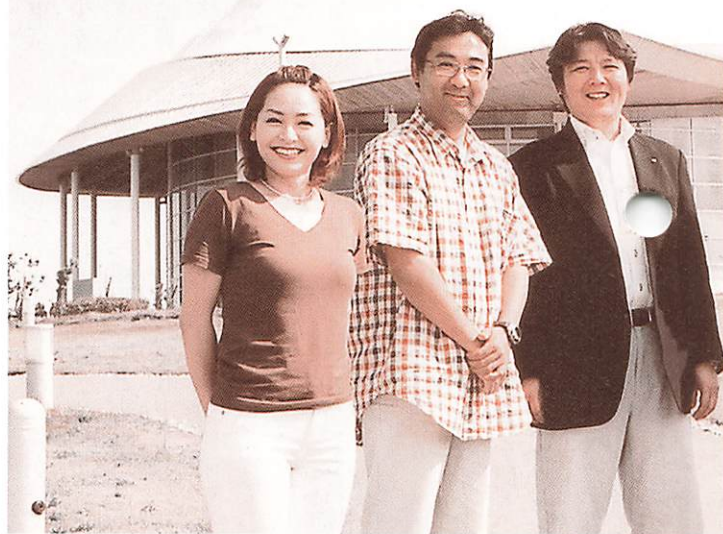
まつもとれんたろう
松本練太郎さん（小郡町）
平成17年（社）吉南青年会議所理事長



こばやし
セニョール小林さん
本座談会のコメンテーター



おきなが ゆうこ
沖永優子さん
本座談会の司会進行役



会場：きららスポーツ交流公園（阿知須町）

町にお越しいただきありがとうございます。私、阿知須小のPTA会長、商工会青年部の元部長として、参加させていただいております。

内田 秋穂町で図書ボランティアグループ代表、読み聞かせグループ「おはなし玉手箱」で活動している内田です。図書ボランティアでは、「多くの方に本を読んでもらいたい」との思いから、小・中学校などへの本の団体貸出やいろいろな方法での読み聞かせを展開中です。

今澄 徳地町の今澄です。「重源の郷」にいられた方への紙すき指導を行いながら、まちづくりを考えるワークショップなどにも参加しています。

小柳 県立大学社会福祉学部2年の小柳です。マジックを通して、若者とお年寄りが絆を超えて、関われることをモットーに活動しています。

沖永 ちなみに今見せていただけマジックはあります。

小柳 はい。ではお見せしましょう。

（今澄さんの握ったコインの種類が一瞬で変わり、一堂盛り上がる）

沖永 なるほど！これをコミュニケーションツールとして活動されているんですね。



子どもたちがまちを愛し、夢が持てる提案を

(松本)

沖永 さて、松本さんは今日、東京から直接こられたんですね。

松本 はい。経営する会社は小郡にあります。仕事上、月の半分以上は、東京と小郡を行き来する生活です。仕事を終え小郡に帰ると、変わらない景色に「ほっ」とします。しかし、東京から訪れた友人は、10年前から変わらない景色や夜の暗さに驚きます。

小林 松本さんが東京と小郡を行き来して仕事ができるのは、小郡が交通の要衝であることと関係があるのでしょうか。

松本 そのとおりです。よく東京の方に「なぜ東京に本社を持つてこないの」といわれますが、東京までは飛行機を使い、1時間少々で行けます。商談の際は、東京にいる相手先より後に出て、先に着いてしまえますから、あえて移動する必要はないと思います。また、山口県で頑張り東京で勝負している会社もあることを示したい気持ちもあります。

小林 松本さんは、名球会のイベントを企画していらつしやるとうことですが、スポーツの面からまちづくりについて、考えていることはありますか。



昨年の「ふしの夏まつり」(小郡町)

松本 「まちづくりは人づくりから」と考えます。また、そのまちに住む大人や子どもたちが、まちを愛してくれるような、夢が持てるような提案が大切です。そこで今年は、「頑張り」と声を掛けるだけではなく、頑張り上手になれる方法を具体的に学び、将来いろいろな形で生かしてもらえばと、野球教室を開催します。

沖永 子どもたちにとっても名球会の方たちとの出会いは、一つの宝物になりますよね。

松本 プロ野球の中でも数十人しかおられない成功者の声を聞き、触れ合えることは、大変貴重な体験ではないかと思います。

沖永 名球会の方たちと触れ合った子どもたちがどんな大人になっていくのか、楽しみです。澤田さんは、どんなまちづくりの活動をしてこられましたか。

澤田 まちを活気づけようと商工会青年部のメンバーと花火大会などのイベントを行ってきました。

また、小学校のPTA会長として活動する上で日頃から意識することとは、今の役員の方が将来に渡って地域でまちづくりに励むために、

読み聞かせを通じ子育て中のお母さんたちを元気づけたい (内田)

沖永 内田さんの具体的な図書活動について、教えてください。

内田 活動を始めたころは、秋穂町に図書館や本屋がなかったため、子どもが本に接する機会が少なくないという危機感から活動を始めました。本の貸し出し、整理から始まり、入園前の小さなお子さんを対象に読み聞かせも始めました。活動しているうちに、読み聞かせ会に來られても、周囲との関わり合いが苦手なお母さんが多いことが気になりました。そこで現在は、読み聞かせ会の後にお母さん同士の交流会を開くなど、子育て支援にも力を入れ、ご好評いただいています。



読み聞かせ会「にこにこおはなし会」(秋穂町)

は、今のうちに子どもを通じて大人が縦・横の楽しい人間関係を作っておくべきではということ。沖永 今澄さんは、これまでの活動を通じ、感じたことは何ですか。今澄 紙すきは体験が主ですが、体験によって得られる人と人とのつながりの大切さを感じます。小林 「重源の郷」という場所が、人と人が触れ合う大きなきっかけの場になっているということですね。

沖永 お母さん方の雰囲気など、始めた当初と比べて変わったことはありますか。



県立大学「水無月祭」での「ミステリーサークル」のステージ
(山口市)

コミュニケーションの さらに上のステップを目指して（小柳）

内田 お客さんとして来られていた方が、現在メンバーとして参加しています。現役のお母さんは、いい絵本をよくご存知です。年輩のメンバーはその情報を刺激にするなど、いいネットワークが広がっています。

小林 内田さんの活動は、秋穂町だけで行われているんですか。

内田 ほほ全県的です。個人的には、時々防府市にも出かけて読み聞かせをさせてもらっています。

仙台市出身ですから、東北弁を生かして、絵本を読ませていただいたりもしています。

小林 1市4町だけではなく、すでにネットワークが広がっていますね。

内田 はい。すでに合併後の活動を視野に、山口市のボランティア団体へも加盟させていただき、山口市立図書館での各ボランティア団体の活動内容の情報をいただいています。

です。ボランティアには、何かをしてあげるというイメージがありますが、それだけではお互いに楽しくないですし、互いに向上し合う工夫が必要だと感じました。

沖永 とところで小柳くんは、今悩みを抱えているそうですね。

小柳 マジックを使ったボランティア活動を始めたときの目標は、ふだん自分が接することの少ない子どもやお年寄りとのコミュニケーションの輪を築くことでした。最近段々とそれができるようになり、今はその次のステップを模索しています。

澤田 人と人とのつながりが、コミュニケーションだと思っています。

それをさらに深めていくには、お互いを理解し、認め合うこと。小柳くんの場合、人にマジックというボールを投げっていますが、今度は受け手が何かを発信してくれれば、その後もキャッチボールが続き、付き合いの幅が広がり深くなるかもしれません。

松本 彼は若いのに自分の考えを持っていて偉いと思います。自分が19歳の時は、そこまでのことは考えていませんでした。コミュニケーションの次の答えを今出さなくても、それを常に意識して今の活動を続けていけば、自然と答えは出てくるはずですよ。

今澄 私は紙すき10年といわれる世界にいますが、思い描いた紙をす

「自分たちのことは自分たちで」 もっと増やしていかなければ（澤田）

小林 合併後の大きくなったまちを考えると、それぞれの活動についても、課題が見えてくると思いますが、みなさんはどのように克服しようとお考えですか。

澤田 合併の目的は、行政の経費削減ですから、住民自らが行うことが増えていきます。「自分たちのことは自分たちで行う」という住民自治の意識が増えていかなければ、まちづくりは進まないと思

くことができて満足してしまうと、それまでです。より上を目指して向上し、常に人が興味を抱くようなものを作っていかなければ、飽きられてしまいます。作り手には、受け手の新鮮な刺激になるものを作り続ける力と向上心が必要だと思います。

小柳 大変参考になりました。これから自分のやっていることに自信を持って、積極的に取り組んでいきたいです。

小林 ここで4町の方と知り合い、マジックを披露する場が広がったわけですね。今後訪ねた先でも人とのつながりが生まれ、いろいろなものが見えてくるかもしれませんね。

小柳 はい、楽しみです。

います。

住民が互いに声を掛け合い、さまざまな場で前向きに活動していけば、問題解決も図れると思います。住民ができることは、そういう小さなところからだと思っています。

合併後のまちづくりにおいては、多くの方と今日のように構想を持って、夢を語りあえる場も欲しいですね。

小林 まちが大きくなるということは、それだけ地域に住む人たちが自分たちの地域のことを意識する、より大事にすることが大切になってくるということです。

松本 来年、吉南青年会議所は30周年を迎えるのを機に、1市4町に枠を広げてバレーボールやサッカーなどの教室に取り組むことも考えています。昔に比べ、今は青年会議所以外にも各種団体がありますので、会議所も合併後の姿を模索していかなければならないと考えています。

内田 知り合いが増えることは、私たちボランティアを行っている者にとって、一番重要なネットワークが築かれるということです。合併を機に、それぞれの地域で活動し、地域に精通したボランティア同士との知恵の交換がより進むのでは、と大きな期待があります。

ネットワークを広げて 伝統文化を継承していきたい（今澄）

沖永 最後にみなさんの思い描く、新市の未来予想図をお聞かせください。

今澄 今年は、重源上人が東大寺再建のために徳地の木を運び、徳地の地に和紙をもたらし、800年目です。これを記念した「重源

今澄 徳地町は高齢化の進んだまちといわれていますが、実際はまちづくりに積極的な住民が多いまちです。それをみなさんに知っていただき、交流を深めていけたらと思います。

小林 まちが大きくなるということは、野球に例えると、グラウンドが広くなった分、ボールを投げたりバットで打ったりする力を強く、技術を向上させなければならぬということだと思います。それは、個人の技術や力量を高めていくということだと思いますが、合併を機にコミュニケーションやネットワークを充実させれば、遠くまで一人で投げなくても間で誰かに中継してもらえます。

それはみなさんが、いかにコミュニケーションを取っていくか、ネットワークを作っていくかにかかっていると感じました。

の郷800年祭」も開催されますが、現在徳地和紙の後継者はお一人だけです。そこで合併後は、人と人とのつながりを深め、ネットワークを広げ、伝統ある徳地和紙を「ちよつとすいてみようか」と興味を抱かれた方に体験していた



「重源の郷」紙すき体験（徳地町）

だき、後継者育成につなげていく tara と思います。

松本 交通の要衝である小郡は、高速道路のインターチェンジがあり、新幹線のぞみ号の停車により駅の乗降客もかなり増えています。その点が、合併後どのように発展を遂げるか、楽しみです。また、そこに住む人たちが最高の笑顔で過ごせる、元気があり、さまざまな情報が集まるまちにしたいと思います。そのためには、そろえていかなければならないものがあると感じています。自分たちに今できることは何かを常に考えながら、今後もまちづくりに貢献していけたらと思います。

内田 お母さん、特に若いお母さんが安心して子育てできるまちになるといいですね。お母さんが穏

やかに安心して子育てができれば、お子さんも穏やかに育ちます。そうして笑顔の家族が増えれば、穏やかで温かいまちになるのではと思っています。

澤田 新山口駅と山口宇部空港の中間に位置する阿知須町は、整備された道が新山口駅までありますが、空港までは直接結ばれていません。空港から町の海岸部を経て、山口市の中心部までを結ぶ道が、中核都市の基盤として整備されると思います。その中で私たちが取り組むのは、それによって生まれるさまざまな行き来を生かし、新山口駅から山口宇部空港までの一帯が、おもてなしの気持ちを持った一つの観光の受け皿になるまちづくりです。現在町では、



「山口きらら博」をきっかけに始まった「花と緑のボランティア活動」（阿知須町）

多くの方がボランティア活動に参加され、「すごいまちだな、もっとお手伝いをしなければ」と感じます。またこの辺りは、広大なきさら浜一带を生かした海のレジャースポットとしても活用が期待できます。

小柳 地域のコミュニティネット

「コミュニティ」を深めれば 「となりまち」が「仲間のいるまち」に（小林）

小林 この対談の前は、1市4町が合併してとても大きなまちになることへの不安がありました。みなさんのお話を聞き、みなさんのような方々とともに一つのまちをつくっていくことは、楽しみでもあり、心強くなりました。

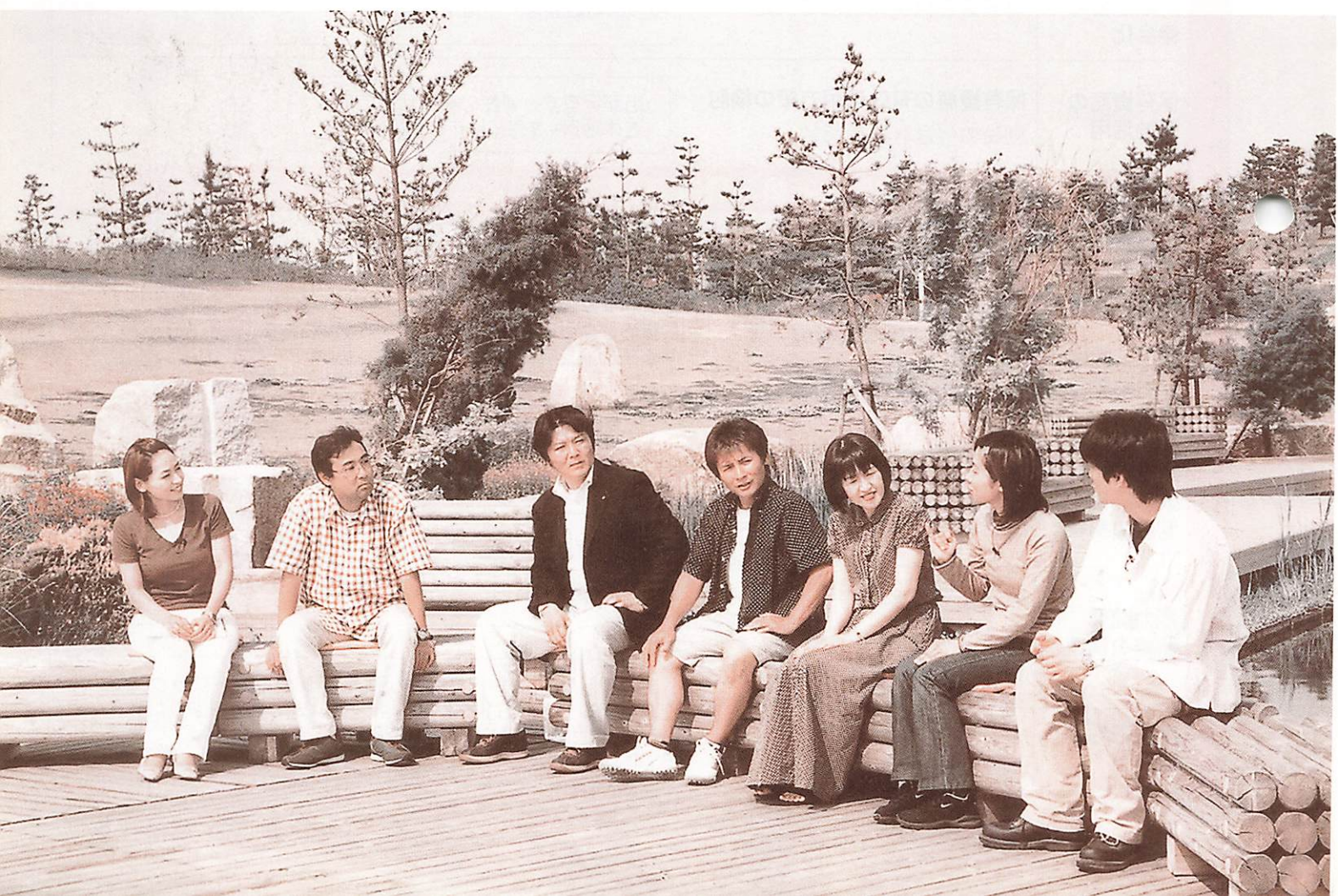
まちが大きくなるということは、移動する距離が長くなるということです。しかし、ここ「き

ワークの充実により、みんなできりあげるまちになればと思います。それぞれの得意分野を生かし、みんなが楽しめるまちをつくり、新たな問題には、試行錯誤しながらみんなで解決していけるまちになるよう、僕も協力していきたいと思っています。

「らスポーツ交流公園」のように子どもが来たる魅力的な場所には、毎週でも来たいくなります。また、お知り合いになった今澄さんから「ちょっと紙をすきにお願い」と誘われたなら、友達や知り合いの家へ遊びに行く感覚で、そこまでの距離がとても近く感じられます。こういうことが、これまでみなさんが語ってこられたコミュニティでみなさんが語り、ネットワークなのかな、と思いました。

こんな魅力的なそれぞれのまちが合併して生まれる新市は、相乗効果でとてもすてきなまちになるんじゃないでしょうか。

沖永 私も日頃からもっと人とのつながりを深めておこうと思いました。これからみなさんの思いが、新市で花開くといいですね。今日はどうもありがとうございました。



■施策展開型の行政経営への転換と健全な財政基盤の確立に向けた取り組み

施策目的の明確化	施策目的の明確化 施策達成度の把握	施策目的を明確化するため、平成16年度に策定した^(※1)3つの計画において、数値目標を設定するなど、市民に分かりやすい計画づくりを進めました。 施策の達成度を把握することにより、市民の意識を施策に反映させるため、市民満足度調査（アンケート）を実施しました。	
新予算制度の構築	包括的予算制度の導入 行政評価システムの構築 計画・予算・評価の連動	平成17年度予算編成において、各部局での自己決定・自己責任の原則の下、配分された予算内において自主的な予算編成を行う「包括的予算制度」を導入しました。 120の事業について、成果の評価を掲載した評価表の公表を実施しました。 各部局が総合計画等に掲げる目標の実現に向けて、評価に基づく事業選択や事業見直しを行うなど、計画・予算・評価が連動するシステムを構築しました。	
施策展開型の組織再編	施策目的に応じた組織再編 全庁的な マネジメント体制の強化 部門への権限移譲 福祉総合相談窓口の設置	各部局での自己決定、自己責任の経営体制を図るため、財務権限の一部を各部局に移譲しました。 福祉部門（高齢者、障がい児・者、児童福祉）の総合的な相談体制を確立するため、「福祉総合相談窓口」を開設しました。	
中長期的な財政運営の健全化	財政運営健全化計画の策定	財政健全化に向けた新たな計画として「山口市財政の現状と今後の財政運営」を策定しました。	
保有資産の有効活用	保有資産の有効活用方策の検討 施設の生涯計画の策定	市が保有する資産の有効活用のため、遊休地3件を売却しました。	

■能力主義に基づく人事制度の構築と職員の人材育成、意識改革に向けた取り組み

定員管理システムの構築	定員管理システムの構築	高度な専門的知識を要するなど、必要とされる能力を備えた人材を確保するため、「一般職の任期付職員の採用に関する条例」を施行しました。	
昇任、昇格、採用制度の構築	(※2)複線型人事管理制度の導入 職員の自己申告に基づく人事任用制度の導入 任期付職員採用制度の導入	(※2)…専門職、総合職などを設定し、職員の志向や職務の専門性への対応を行うための人事制度。	
人事評価制度の構築	人事評価制度の構築		
能力開発研修の構築	研修体系の再構築 マネジメント研修の実施 自己啓発のための環境づくり	職員の自己啓発を活性化するため、既存制度（通信教育制度、先進地視察研修、自主研究グループ育成）の充実のほか、行政関連書籍のデータベース化を行いました。	
市民対応の質向上	市民対応の質向上策の強化	市民満足度100パーセントを目指し「職員ハンドブック 窓口満足度向上ガイド」を作成しました。周知徹底を図るため、作成した指針に基づいて、研修を強化することとしています。	

平成16年度 第四次山口市行政改革の実施状況

～自立・協働のまちづくりに向けた経営基盤の改革を目指して～



福祉総合相談窓口（市役所1階）

平成16年3月に策定した「第四次山口市行政改革」について、平成16年度末までに全40項目中24項目を実施しました。この度、その実施状況を取りまとめましたので、概要を公表します。今後も、地方分権時代にふさわしい自立した自治体を目指すとともに、市民と行政がお互いの役割を認識した上で、協働してまちづくりを推進していけるよう、行政改革を計画的に進めていきます。なお、実施状況は市ホームページ（市報表紙参照）にも掲載しています。

◇問い合わせ 市企画経営課（☎934-2728）

赤字は平成16年度に実施済（8項目）
（平成15年度から継続して実施された1項目を含む）

薄赤字は平成15年度に実施（6項目）

黒字は平成16年度から実施し現在取り組み中（11項目） 薄黒字は検討中（16項目）

■市民との協働の推進に関する取り組み



市民との協働	市民参画システムの構築 地域計画の策定 出張所・公民館機能の見直し 団体事務局業務の見直し 職員の地域活動への参加促進 市民が市政に参画する手法の仕組みづくりの一つとして、平成16年度に策定した（※1）3つの計画において、パブリックコメント（市民から募集した意見を考慮しながら最終決定を行う）を実施しました。 （※1）…「第五次山口市総合計画後期基本計画」「山口市次世代育成支援行動計画」「山口市健康づくり計画」のこと。
行政の役割の明確化	民間活用のための指針の策定 民間活用推進計画の策定 業務実態調査の実施 内部管理業務の集約 民間活用の推進の指針となる「民間活用ガイドライン」を策定して、民間活用の可能性を検証しました。



■市民と行政の情報共有化に向けた取り組み

情報提供機能の充実	情報発信の指針の策定 市報の充実 ホームページの充実 メールマガジンの導入 情報発信を行う際のルールや、各種メディアの活用方法等を定めた「パブリシティの手引き」の改訂版を作成しました。 新市に向けた一体感の醸成のため、県央部1市4町での共同企画に取り組みました。
広聴機会の拡充	リレーミーティングの充実 電子会議室の導入 市民アンケートシステムの導入 自治会長が司会進行する形を取り入れ、地元の主体性を尊重しました。また、リレーミーティングの内容をまとめた概要版を公表しました。
市政の透明性と信頼性の確保	審議会等の公開 （平成15年度からの継続実施項目） 陳情・要望の公表 外部監査制度の導入 ホームページで審議会等の開催をお知らせし、市民が傍聴しやすい環境づくりを行いました。また、会議録等も公開し、市民が会議内容を把握できるようにしました。 地域や団体からの陳情・要望の経緯と対応を、すべて公表する仕組みをつくりました。公表にはホームページを活用し、多くの市民が気軽に閲覧できるようにしました。



「やまぐちタウンミーティング」を行いました

5月22日、25日、6月5日の計3回にわたり、市民活動団体の代表者と市長がまちづくりについて語り合う「やまぐちタウンミーティング」を行いました。

これは、市民活動団体と行政が、互いの立場や考え方、要望などを理解し合い、協働に向けた取り組みを一層推進するための会合です。

第1・2回には、各5団体に参加いただき、それぞれの活動内容の紹介のほか、社会や市民、行政への期待と、活動への思いなどについて、市長と対話を行いました。第3回には、それまでに参加した10団体すべてが参加し、活動する上での思いや要望などを市長と語り合いました。

参加者からは「活動しやすい場が欲しい」「市職員も市民の視線から一緒に考えて欲しい」などの意見や、市民団体の自助努力を訴える声も上がりました。また、「普段なかなか聞くことのできない、他の分野



で活動している団体の意見を聴く機会となつて良かった」という感想もありました。

市長は、「聞いて良かったというだけでは終わらせずに、少しずつでも前進し、この会合が意義のあるものだったと言えるようにしたい」と述べました。

	参加団体名	主な活動
第1回 (5月22日)	NPO法人こどもステーション山口	子どもたちの文化環境の向上のための子育て支援活動
	山口市消費生活研究会	自立した消費者育成のための講座や交流会の実施
	栄養士ネットワーク ぽこぽこ	食生活の大切さをアピールする勉強会等の実施
	山口地区ヘルスボランティア ひまわりの会	障がいへの理解普及啓発活動と憩の家「里楽巢(りらくす)」運営
	よつばの会	飼い主のない猫の不妊・去勢や里親探しなど
第2回 (5月25日)	NPO法人アス・ライフサポート	障がい者・高齢者の生活形成と啓発活動による地域交流
	NPO法人フリースクールAUC	子ども主体の教育へ向けた通所型フリースクール、家庭教育支援
	NPO法人ヒューマンスペースきらきら銀魚	自立生活の推進等によりバリアフリー社会を目指す
	NPO法人ひつじの会	知的障がい児・者支援のためのグループホーム運営等
	やまぐち育児サークルネットワークぶちネット	育児サークルの認知度の向上と各サークル間の連携強化

※第3回(6月5日)は、上記のすべての団体に参加していただきました。

市民活動交流事業補助金の交付団体が決まりました

市民活動交流事業補助金の交付団体を決定する公開プレゼンテーションが、6月11日に中市コミュニティホールで行われました。

この補助金は、市民が行う自由で自発的な公益活動である市民活動に対し交付するものです。参加した11の市民活動団体は、それぞれ趣向を凝らして、熱心に事業を説明しました。

各団体の活動内容は、市民活動推進支援評議会の委員らで構成される交付団体選考委員会によって審査され、下表のとおり交付団体を決定しました。

交付団体の事業計画等は、市民

観光モデルコース開発事業が開始されました

県央部1市4町地域内に点在する観光資源を結びつけた魅力ある観光コースの提案を目的として、観光モデルコース開発事業が開始され、5月18日に第1回開発委員会が行われました。

この事業は、1市4町のまちづくりや地域おこしに携わっている方と、観光関係者、行政が協働し、

活動支援センターさばらんで(道場前二丁目2-19)で閲覧することがができます。

団体名	事業名
山口日フィン協会	(仮称)大内文化とクリスマスの国フィンランドとの500年目の国際交流
楽楽楽(ららら)	多世代交流 楽楽楽(ららら)サロン
NPO創夢〜就労等福祉支援の会〜	障がい者等就労フォーラム開催と支援ネットワーク形成事業
学生耕作隊コミュニケーションサポーターズ	交流耕作隊
(社)アムネスティンターナショナル・日本 山口グループ	映画「LittleBird」上映会
NPO法人ひつじの会	知的障がい者地域共生のための啓発事業
肉球生活向上委員会 With Wan	マナーアップwithワン!
平井を明るく豊かにする会	平井笑学村
ピアカウンセリングサークル「ゆうとびあ -you to peer -」	ピアカウンセリング、ピアエデュケーション(思春期保健対策事業)
宮野観光会	桜の里造り事業
ぶどうの木 山口市子ども読書ネットワーク	子どもと読書推進事業

◇問い合わせ 市地域生活課(☎934-2763)

テーマ別や交通手段別、季節別などのさまざまな観光モデルコースを企画、提案していくものです。

9月からは、一般参加者によるモニターツアーを実施し、委員会で検討された企画案に沿って観光コースを体験してもらいます。そして、参加者の意見や感想を取り入れながら、より良い観光コースの開発に取り組みしていきます。

◇問い合わせ 市観光課(☎934-2810)

風水害への備えは できていますか

台風や大雨は、決して突然襲ってくるものではありません。

風雨による災害は、ラジオやテレビなどで伝えられる気象情報により、地震などの突発的な災害に比べると、ある程度予測ができます。日頃から、以下の事柄に注意して、風水害に備えましょう。



日頃からの備えを大切に

- ・ 気象情報を注意深く聞く。
- ・ 災害が予想される時は、むやみに外出しない。
- ・ 停電に備えて懐中電灯や携帯ラジオを準備しておく。
- ・ 断水に備えて飲料水を確保しておく。
- ・ 避難に備えて貴重品などの非常持出袋を準備する。
- ・ 浸水や土砂災害の恐れのあるところでは、早めの避難を心掛ける。

※市では、気象警報発令時に防災情報をケーブルテレビ(12ch)で放送しています。災害が発生する恐れがあるときには、市ホームページ(<http://city.yamaguchi.yamaguchi.jp/somu/kurashi/saigaitaisaku.htm>)上で、防災に関する情報を閲覧できますのでご利用ください。

自主避難をするときには

避難勧告なしに自主的に避難する場合には、避難所が開設されないため、自分で避難先を確保する必要があります。市では、避難先が確保できない方のために、大雨洪水警報などの気象警報の発令による警戒態勢に合わせて、各地区の公民館で避難の受け入れを行っています。

- ・ 避難する場合は、出張所・公民館または市総務課に連絡した上で、避難しましょう。
- ・ 食事など生活に必要なものは、各自で用意してください。
- ・ 夜間や暴風時の避難は危険ですので、風の弱い昼間に避難しましょう。
- ・ 気象警報が解除されれば、通常体制に戻りますので、原則的に避難の受け入れは行いません。



■問い合わせ 市総務課 (☎934-2723)

【重点目標】地域活動の推進による少年の非行防止と更正の援助
社会を明るくする運動は、すべての国民が犯罪や非行の防止、罪を犯した人たちの更正について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

市内では、7月1日(金)の啓発パレードや募金活動などが行われます。ぜひご協力ください。

なお、平成16年度にご協力いただいた募金は、前年度繰越金と利息を合わせて369万1616円

平成16年度募金の支出内訳

「社会を明るくする運動」 実施経費	458,725円
次年度活動準備金	202,891円
各団体への配分金	3,030,000円
山口地区保護司会	1,400,000円
山口更正保護司会	590,000円
山口更正保護女性会	410,000円
山口教諭師会	300,000円
山口市民生委員児童委員協議会	200,000円
山口市青少年健全育成市民会議	130,000円
計	3,691,616円

で、支出内訳は表のとおりです。ご協力ありがとうございました。

◇問い合わせ 市社会課 (☎934-2790)

7月は「社会を明るくする運動」強調月間です

ふれあいと対話が築く明るい社会



国民年金保険料の免除・猶予制度について

Q 勤めていた会社を退職し、国民年金に加入しましたが、収入が少なく保険料を納付することが困難です。何か良い方法はありませんか。

A 免除制度や、30歳未満の方であれば若年者納付猶予制度をご利用ください。前年中(平成16年1月1日～12月31日)の所得を基準として審査され、保険料の全額または半額が免除、または納付が猶予されます。退職さ

れた日が平成16年4月1日以降の方については、申請書に離職票または雇用保険受給資格者証の写しを添付していただければ、退職されたことが考慮されます。

平成18年7月までに申請されれば、平成17年4月からの承認となりますが、なるべくお早めに手続きしてください。

なお、半額免除が承認された場合、保険料の半額を納付されなければ未納期間となり、その間に起こった事故や病気で重い障がいが残っても障害年金が支給されない場合があります。

◇問い合わせ 市保険年金課年金担当 (☎934-2802)

まちびと 自慢

「手しごと」で生まれたものには、一つひとつに深いこだわりと願い、そして何とも言えない温かみを感じられます。

今回は、好きなことを生かし、人や地域と関わりながら、「手しごと」を楽しむまちづくりびとたちをご紹介します。

一緒に
やってみ
ませんか？



テーマ 手しごと編



「SAORI山口」代表
もり しず こ
森 静子さん

小郡町

めざすまちスタイル
夢をかたちにできるまち

「さをり織り」は、好きな糸で好きなように織っていく中で、自己を見つけ自己を表現する織り物で、「教えず、引き出す」ことを大切にしています。障がいのある人たちも、織りながら「きれい！」とか「今度はこうしたい」といわれますし、どんどん自信がついていきます。私はそのような「さをり織り」の考えに感銘を受け、「感じる」「感動する」力＝「感力」を引き出してあげたいと思っています。感力は脳を活性化し、人を元気にするのです。自分らしさが魅力的なデザインを生むさをり織りに、「出会って良かった」という人が増えていくよう、私はさをりの種をまいていきます。



まちづくりびとたちの
より詳しい情報を
やこねっとWebで
紹介しています！
見てね！

<http://www.ycnet.jp/>



「山口県薪炭同業協会」竹炭部会長
たたら こういち
多々良 孝一さん

山口市

めざすまちスタイル
自然にも人にも
やさしいまち

山にとって増え過ぎると良くない竹を有効に利用し、里山をきれいに保つ取り組みとして、竹炭づくりに力を入れています。竹炭は、空気や水の清浄、消臭、土壌改良等、日常の生活でも利用方法が幅広く、自然環境を整えてくれる優れものなんです。

また、竹炭を焼く時の煙から取れる竹酢液（ちくさくえき）は、食器洗浄や洗濯に利用でき、川や海に流れると水を浄化してくれ、一石二鳥です。ぜひみなさんにも利用していただき、みんな環境を守りたいものです。これからは、この竹炭の生産を安定させ、企業とも連携して普及させていきたいです。



重源の郷 木竹の家「匠」担当
こしま ますみ
小嶋 真純さん

欲しい家具が見つからず、それなら自分で作ろうと、木工の世界に入りました。作品がイメージしていたものに近づく、とてもうれしいですね。ここでは幅広い世代の方々に木工、竹細工体験を楽しんでいただいています。お客様からいただくアドバイスや、「前回楽しかったよ」というリピーターの方の声がとても励みになります。自分は県外の出身ですが、徳地町の雰囲気がとても気に入っていて、このまちで好きな仕事ができることは、本当に恵まれていると感じています。みなさんにも、ぜひここで日頃の忙しさを忘れて、のんびりと心も体も癒してほしいですね。

徳地町

めざすまちスタイル
いつも
人のあたたかみを
感じられるまち



阿知須町商工会ひなもん教室指導者
ふじもと けいこ
藤本 慶子さん

阿知須町

めざすまちスタイル
素直な心で
健康なまち

きらら博を満喫し、そのパワーを生かしたいと新たな楽しみを探していた時、福岡県柳川の飾り細工「さげもん」に出会いました。阿知須町の古い町並みにも飾ってみたいと、すぐにさげもん教室がスタートしました。「さげもん」は、阿知須町では「ひなもん」と呼んでいます。教室では、人との出会い、お互いに学び教えあう楽しさはもちろん、日頃の思いを話すことで人との和が生まれ、心も健康に保てると思うんです。さるは元気な子ども、「おしどり」は仲睦まじいなど、それぞれに愛情と願いが込められたひなもん作りを、これからも楽しんでいきたいです。



おがた かつ こ
緒方 勝子さん



日本画サークル「遊美会」指導者
みちなか ふみこ
道中 富己子さん

若いころから絵を描くのが好きで、今は日本画教室のお世話をしています。仲間には高齢の方が多くいますが、日常の中で描きたいものを探し、じっくり観察して絵を描くので、一日を短く感じるようになったと言われます。そして、作品が完成した時の大きな達成感が、また元気の素になるんですね。私は毎晩筆を握りますが、いやなことがあっても、絵を描くことに没頭すると気分も晴れますよ。ふるさとである山口の絵ももっと描きたいですね。今の夢は、またいつか個展を開くことです。

秋徳町

めざすまちスタイル
地域のみんな
子どもを育てるまち

企画・編集
やこねっと

やこねっとは、やまぐち生活が
ぶち楽しくなる情報を発信します！

皆さんの周りに
「まちづくりびと」いませんか？

地域、まち、人、みんなに元気を
届ける、元気なまちびとを、
ぜひご紹介ください。

情報は、yacopy@ycnet.jpまで！
お待ちしております！

人
活動団体
イベント
etc.



山口のみんなが元気になる
情報をお寄せください！！
お問合せ・情報はお気軽にこちらまで！

市民まちづくり情報センターやこねっと

yacopy@ycnet.jp
090-7120-0847

901-1165

〒753-0047 道場門前1-2-19
市民活動支援センター さぼらんで

詳しくはアクセスしてね！

<http://www.ycnet.jp/>

携帯版はこちら！！

<http://www.ycnet.jp/i/>



市リサイクルプラザ
☎ 927-7122 ☎ 927-7133
http://www.c-able.ne.jp/~ymgplaza/
開館時間 午前9時から午後5時
資源物の受け付け
午前9時から午後4時30分
月曜と祝日の翌日はお休みです

事業所からの資源物に

こんなものまで 混入していました！

プラスチック製容器包装の異物混入調査

やまぐちエコ倶楽部では、毎年資源物の異物混入調査を実施しています。今年も、事業所から市リサイクルプラザに持ち込まれたプラスチック製容器包装について、6月4日(土)に調査を実施しました。今回は、資源物199.9キログラム(可燃物のごみ袋〔大〕156袋分)の入っている袋を一つひとつ開けて手作業で調べました。その結果についてご紹介します。

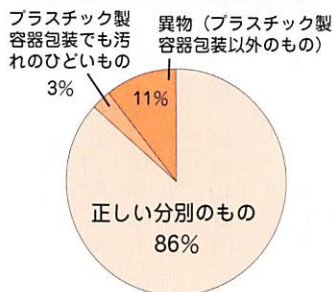
袋の中には、たばこの吸い殻、びん、かん、かみそり、クレジットカードなどまで入っていました。また、二重包装で出している弁当の空きがらは、必ずと言っていいほど中に食べ残しが入ったままの状態、そのため、袋全体に汚れが広がっていました。



文房具などが目立ちます

どうしてこんなものが？

プラスチック製容器包装(事業系ごみ) 異物混入調査結果



今回の調査では、正しく分別されているプラスチック製容器包装は86パーセント、汚れがひどいものが3パーセント、燃やせないごみなどの異物が11パーセントという割合でした。



手作業による仕分け調査

事業所の業種によつて混入する異物に違いがありますが、CD、ボールペン、マジック、フィルム、文房具などが目立ちます



※1



※2



※3

※資源物の分別方法などは、各家庭に配布しています「ごみ分別の手引き」を参考にしてください。

(企画 やまぐちエコ倶楽部)

今回の調査をしてみて、「分別しよう、資源化しよう」という気持ちは伝わってきますが、分別の方法が正しく認識されていない印象を受けました。職場などでは人任せになりがちですが、一人ひとりが自覚をするために分別ボックス周辺にそれぞれの表示マークを貼っておくなどの工夫も有効な方法です。

正しい分別のための心がけを



プラスチック製容器包装で間違えやすいのは、プラスチックでできたものなら何でもいいという思い違いです。プラスチック製容器包装には、リサイクルマークがついています。

※1…飲料・酒類・しょうゆ用のペットボトル

※2…紙製容器包装(飲料・酒類用紙パックでアルミ不使用のもの及びダンボール製容器包装を除く)

※3…紙パック

7月のリサイクルアイデア講座(午前10時～正午) 《いつでも参加できます。申し込みはいりません》

かんたんリフォーム(エプロン)	1(金)8(金)15(金)	やさしいパッチワーク(※2)	9(土)20(水)
フラワーアレンジメント	2(土)16(土)	余り布で作るコサージュ	14(木)
モラで小物づくり	5(火)	かんたん着付け(ゆかた)	16(土)26(火)
トールペインティング(※1)	6(水)	夏休み子どもリサイクル講座 ・さき織り 23(土) ・貝がら工作 24(日) ・牛乳パック工作(水車) 30(土) ・あんでるせん手芸 30(土) ・トールペインティング 31(日) ■午前9時30分～正午 (さき織りは午前10時～正午)	
カントリードール(※1)	6(水)13(水)		
さき織り	7(木)14(木)21(木)28(木)		
ネクタイのリフォーム	7(木)		
毛糸のリサイクル	8(金)22(金)		
布あそび	9(土)23(土)		
牛乳パック工作(スライストラック)	9(土)		

(※1) 午前9時30分～正午 (※2) 9(土)は午後1時～3時

7月のフリーマーケット

◇日時 7月10日(日) 午前9時～午後3時
(雨天中止)

※おもちゃの病院もあります。受付は午前10時～11時30分です。

※8月のフリーマーケットは8月7日(日)。出店の申し込みは、7月15日(金)午前8時30分から、リサイクルプラザで受け付けます(出店共益費300円)。

■詳しくはお問い合わせください。

夏の交通安全県民運動 7月10日(日)～19日(火)

【交通安全スローガン】思いやり みんなですすめる 交通安全

【重点目標】●子どもと高齢者の交通事故防止！

●二輪車・自転車の交通事故防止！

●夜間の交通事故防止！

◇問い合わせ 市地域生活課 (☎934-2765)



お知らせ

—— 山口市役所 〒753-8650 龜山町2-1

特別障害給付金制度 のお知らせ

◇対象者 国民年金に任意加入し

ていなかった期間内に初診日があり、現在障害基礎年金の1、2級相当の障がいのある方で、①②のいずれかに該当する方

①平成3年3月以前の国民年金任意加入対象であった学生

②昭和61年3月以前の国民年金任意加入対象であった厚生年金・共済組合の加入者の配偶者

◇支給額 1級：月額5万円／2級：月額4万円（支給額は、毎

年度自動物価スライド有）※所得や老齢年金等の受給状況によつて支給制限があります。

◇注意点

・請求月の翌月分から支給されます。お早めに請求してください。

・認定事務は非常に時間を要する場合があります。支給の決定まで数カ月必要となることもありますので、ご了承ください。

◇請求受付場所 市保険年金課

（市役所1階 ☎934-2802）

※認定等の審査・支給事務は社会保険庁で行います。

◇問い合わせ 山口社会保険事務所

所（☎922-5660）、社会保険事務局（☎927-8211）

戦没者等のご遺族の方へ 特別弔慰金の支給

平成17年4月1日時点で、公務

扶助料や遺族年金等を受ける方がいない場合に、次の順の先着位のご遺族一人に弔慰金を支給します。

1 戦傷病者戦没者遺族等援護法による弔慰金の受給権者

2 戦没者等の子

3 戦没者等と生計関係を有し、かつ戦没者等と氏が同じである①

父母②孫③祖父母④兄弟姉妹

4 前述の3以外の①父母②孫③祖父母④兄弟姉妹

5 前述の1～4以外のご遺族で、戦没者等の死亡時まで引き続き1年以上生計関係を有していた三親等以内の親族

◇支給内容 額面40万円、10年償還の記名国債

◇請求締切 平成20年3月31日

◇問い合わせ 市社会課（市役所1階 ☎934-2790）

就職支援パソコン講座

市民で、離職者（予定含む）及び就職を志す方を対象としたパソコン講習会を開催します。

【初心者講座】

◇期日 8月2日（火）～11日（木）の火・木・土曜日（全5回）

【中級講座】

パソコン3級程度が取得できる内容です。

◇期日 8月16日（火）～9月29日（木）の毎週火・木・土曜日（全20回）

■いずれも

◇内容・時間 ワードコース・午前9時～正午、エクセルコース午後1時～4時

◇場所 サンフレッシュ山口（湯田温泉五丁目5-22）

◇定員 20人（応募多数時は抽選）

◇受講料 無料（テキスト代実費）

◇申し込み・問い合わせ 7月12日（火・必着）までに、ハガキに〒住所、氏名、年齢、電話番号、ハローワーク山口の登録の有無、希望講座・コースを明記の上、市商工振興課（☎934-2719）

※学生は除きます。

三和児童館夏まつり

◇日時 7月30日（土）午前10時～午後2時30分

◇場所 ふしの会館（三和町3-3）

◇内容 ゲーム、工作、屋台など ※屋台は食券が必要。7月4日（月）から1枚200円で販売。

詳しくはお問い合わせください。◇問い合わせ 三和児童館（ふしの会館 ☎922-7055）

山口的な情報（山口ケーブルテレビ）

午前7時45分（月・水・金・日）、午後零時15分（火・木・土）、午後6時15分（月・水・金・日）、午後10時（火・木・土）から20分間放送。

○1日～15日「県央部1市4町共同特別番組

県央部1市4町住民座談会

みんなで描こう！新『山口市』の未来予想図」

○16日～31日「いっしょにまちづくりをしましょう！協働に向けた取り組み」

やまぐちしま専科（山口朝日放送）

毎週水曜日、午後1時55分から4分間放送。

ご覧ください
山口市の
広報番組

7月の
放送予定です

○6日「親子で料理してみま専科」

○13日「山口市健康なまちづくり大会」

○20日「昔の山口、見てみま専科
～江戸時代の山口のくらし展～」

○27日「栗林和彦の山口名庭」

わたしたちのまち山口（テレビ山口）

毎週日曜日、午前11時40分から4分間放送。

○3日、10日、17日

「歯を大切に！小学生の歯みがき指導」

○24日、31日「24時間資源物ステーションを開設しました」

福岡県西方沖地震義援金関係へのご協力、ありがとうございました

平成17年4月4日～5月31日までの間、福岡県西方沖地震災害義援金を市内19カ所にて受け付けました。市民のみなさんから預かりした義援金は、総額71,279円となり、日本赤十字社福岡県支部へ送金しました。義援金は、被災者の方へ見舞金として配分されます。ご協力いただき、ありがとうございました。

◇問い合わせ 市社会課 (☎934-2790)

「山口市統計年報」の販売

人口・産業・教育など各種データを掲載しています。仕事や学習などに、ぜひご利用ください。

◇価格 2000円

◇販売・問い合わせ 市情報管理課統計担当 (白石一丁目2-7)

市分庁舎内 ☎934-2748

※市情報管理課統計担当は、7月1日から市役所分庁舎へ移転しました。

ワイワイ交流会

県十種ヶ峰青少年野外活動センターの「森のチャレンジコース」を体験します。詳しくはホームページ <http://www.journey-k.com/tokusagamine/> をご覧ください。

◇期日 8月16日(火)～17日(水)の1泊2日

◇集合時間等 午前9時に山口南総合センター(名田島1218-1)または午前9時30分に市役所のいずれかを選択

◇対象 山口・防府圏域の小学4年生～中学3年生で、山口市からは12人(応募多数時は抽選)

◇参加費 1000円

※傷害保険は主催者側で対応

◇申し込み・問い合わせ 7月15日(金・必着)までに、ハガキに

〒住所、氏名、生年月日、電話番号

号、学校名、学年、保護者名、希望集合場所を明記の上、市企画経営課(☎934-2747)

親善友好第九コンサート

姉妹都市のスペイン・パンプローナ市から来山されるナバラ州立音楽院交響オーケストラと、第九を歌う会「アン・デイ・フロイデ」との合同コンサートを行います。

◇日時 8月4日(木)午後7時

◇場所 市民会館大ホール(中央二丁目5-1)

◇入場料 高校生以上・一般1000円(当日1300円)、小・中学生500円

◇チケット販売・問い合わせ 第九を歌う会「アン・デイ・フロイデ」(☎925-7239)、市民会館(☎923-1000)

やまぐち街なか大学「まちの音楽室」

クラシック音楽の名曲を高音質で鑑賞する、CDコンサートです。

◇日時 7月9日(土)午後7時～9時30分

◇場所 市葉香亭(天花一丁目2-7)

◇参加料 無料 ※申込不要

◇問い合わせ やまぐち街なか大学事務局(☎934-3515)

8月1日(月)～平成18年3月31日(金)

道路改築工事に伴う通行止めと市コミュニティバスの運行ルート変更のお知らせ

【通行止め】

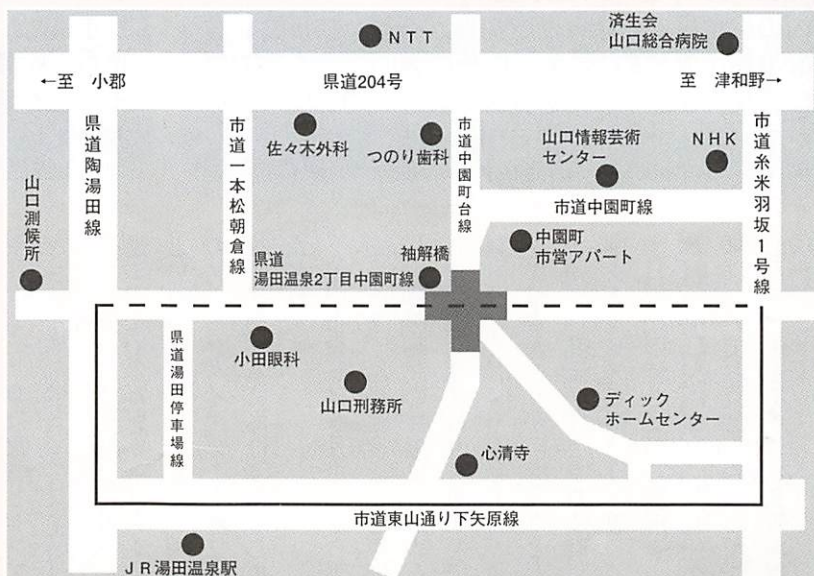
都市計画道路中園町三和町線道路改築工事のため、交差点(袖解橋)付近は全面通行止めになります。工事看板及び案内標識等に従い通行してください。ご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いします。

◇問い合わせ 市都市計画課街路担当(☎934-2832)

【市コミュニティバス運行ルートの変更】

上記の通行止めに伴い、吉敷・湯田ルート(旧道・朝倉まわり)について、期間中運行ルートの一部を振り替えて(旧道の区間を東山通りへ)運行します。なお、変更中のバス時刻表は、バス車内、防長交通営業所、市役所受付、各出張所に備え付けるほか、市ホームページ(市報表紙参照)にも掲載します。

◇問い合わせ 市都市計画課交通政策室(☎934-2729)



車両通行止め箇所 〇 現在の運行ルート 〇 変更後の運行ルート

〇 経由しないバス停(6カ所)
山口第二保育園入口、中讃井、電電泉都町AP前、前町、下市町、今井町



手のひらで豆腐を切るなんてビックリ！

「市民活動支援センター さぼらんて」において、外国人のための日本料理教室が開催されました。5カ国6人の参加があり、おにぎりや味噌汁、漬物などを作りました。調理器具の使い方や、初めて見る食材などに、参加者は興味津々の様子でした。(5月29日)



きれいにみがけたかな？

市内の小学校で、歯みがき指導が行われました。写真は小鯖小学校の1年生。自分の歯の汚れを薬で着色し、歯科衛生士さんの指導により、歯の磨き方などを学んでいました。(6月9日)



冷たくなって、楽しくって、プールは最高！

市内の小学校で、プールの授業が始まりました。写真は興進小学校1・2年生のみなさん。授業の最後が自由時間となり、大はしゃぎです。友だちと水を掛け合ったり、潜ったりして、大いに楽しんでいました。(6月13日)



夏の到来を告げる「祇園囃子」の音色

今年も、7月20日の祇園祭に向けた祇園囃子の練習が始まりました。今年から参加する3人の中学生は、緊張した面持ち。先輩の動きを見ながら、独特な鉦のたたき方やかけ声などを習っていました。本番での息の合った演奏が楽しみです。(6月10日)

山口市役所は6月中旬から実施しております。冷房温度設定も原則28度とし、冷房時間の短縮にも努めることとしました。期間は9月末までです。職員もそうでしょうが私も時々ネクタイをすべきかどうか戸惑うことがあります。が、儀礼上必要とされる時以外は原則クールビズで通そうと思っております。市民の皆さまのご理解をよろしくお願い申し上げます。なお、クールビズについてお気付きのことがございましたら、遠慮なくご意見等お寄せください。

「省エネひいては地球温暖化防止に役立ち仕事しやすいということ」で推奨している。強制ではない。国会の本会議や外国の賓客対応の時は上着、ネクタイを着用する。そこは臨機応変にやればよい。要は常識とセンスが大事だ。大体、以上のような内容でした。クールビズとは夏を涼しく(クール)過ごすためのビジネススタイル(ビズ)という意味だそうにして、環境省が夏のノーネクタイ、ノー上着ファッションを提唱するにあたり公募して決定した名称です。

「省エネひいては地球温暖化防止に役立ち仕事しやすいということ」で推奨している。強制ではない。国会の本会議や外国の賓客対応の時は上着、ネクタイを着用する。そこは臨機応変にやればよい。要は常識とセンスが大事だ。大体、以上のような内容でした。クールビズとは夏を涼しく(クール)過ごすためのビジネススタイル(ビズ)という意味だそうにして、環境省が夏のノーネクタイ、ノー上着ファッションを提唱するにあたり公募して決定した名称です。

扱は、クールビズの趣旨説明から始まりました。



クールビズ

6月初旬、東京で開催された全国市長会における小泉総理の来賓挨拶